

公立八鹿病院組合のあり方検討支援業務仕様書

1. 目的

人口減少、高齢化の急速な進展等に伴う医療需要の変化や人件費をはじめとする急激な費用の増加は、都市部を含めた全国の公立病院の経営を圧迫し、公立八鹿病院組合も厳しい経営状況に直面しています。このため、将来にわたり、医療・介護サービスの提供を通じて地域住民に「安心」「安全」を提供し続けるには、組織の地域における役割の明確化と一層の連携の下で、限られた人的・設備的資源を最大限に有効活用することが重要です。

このため、「公立八鹿病院組合あり方検討委員会」（以下「あり方検討委員会」という。）を設置し、今後の需要等を踏まえた運営体制等の検討会議を進めるにあたり、現状と課題の分析や今後求められる機能の整理等、今後のあり方検討に係る支援業務を委託します。

2. 業務内容

本業務委託におけるあり方検討の対象施設は、公立八鹿病院、公立村岡病院、公立八鹿病院老人保健施設、公立八鹿病院看護専門学校の4施設とし、以下の業務を実施する。

なお、公立八鹿病院看護専門学校については、同事業の専門性、特殊性に鑑み、あり方検討委員会の下に別の専門委員会を設置する予定です。

(1) 対象施設の外部環境調査

- ① 地域における患者数、利用者数、看護学生等に係る市場の分析
- ② 地域における医療機関、介護施設、看護学校等に係る連携、競合の分析

(2) 対象施設の内部環境調査

- ① 財務諸表・経営指標等に係る財務分析
- ② 診療実績、介護サービス提供実績等に係る分析

(3) 今後の需要及び地域の状況を踏まえた対象施設の方向性に係る提案

- ① 対象施設ごとに将来の方向性に係る選択肢を複数案で提案
- ② 選択肢ごとにメリット・デメリットを整理した対応策等の提案

(4) 公立八鹿病院組合あり方検討委員会の運営支援

- ① 検討委員会で使用する資料の作成
- ② 検討委員会への出席、説明、質疑応答の対応

(5) 進捗管理及び報告書の策定に係る業務

- ① プロジェクトマネジメント業務（公立八鹿病院組合との打合せ、議事録の作成、進捗管理等）
- ② 報告書の作成

3. 業務実施に関する条件等

(1) 契約締結後は速やかに業務実施計画を作成し、委託者に対してスケジュールや作業の進め方、委託者が提供すべきデータの範囲や提供方法等を説明すること。

(2) 契約期間中は委託者と複数回の面談を実施し、業務の進捗の報告及び以降の作業工程等に関する協議を行うこと。また、協議内容は、成果物とは別に逐次議事録として作成・提出すること。

(3) 業務委託契約書に明示していない事項であっても、本件業務に当然に付随するものについては適切に対応すること。

なお、本件業務に内包されるか判断しがたい事項については、委託者と受託者が協議の上、その取扱いを定めるものとします。

(4) 業務の実施に当たっては関係法令を遵守するとともに、個人情報の漏えい等、重大な事故が発生したときは速やかに委託者に報告し、指示を受けること。

4. 成果品

(1) 提出物

- ①事業報告書（日本産業規格A4（詳細な図面等にあつてはA3折りたたみ）で作成、ファイリングしたもの）15部
- ② 事業報告書の電子データ（マイクロソフト社の文書作成・表計算ソフトウェアで展開できる形式のもの）

(2) 成果品の権利

成果品は全て委託者に帰属することとし、受託者は委託者の承諾を得ずに使用または公表しないこと。

5. 供与データの処分

委託者から供与された診療情報等の電子データは、専門業者によるデータ消去サービスやデータ消去用ソフトウェアを用いる等、復元が不可能な方法により業務終了後速やかに消去し、その状況を委託者に書面で報告すること。また、業務の過程で生じた印刷物については細断する等、適切に処分すること。

6. あり方検討委員会スケジュール（想定）

(1) 開催期間

令和8年9月から令和9年6月

(2) 開催時期と内容

開催時期		内容
令和8年度	第1回	◦現状と課題 状況説明、問題点等の提示
	第2回	◦現状と課題（追加分析） ◦方向性案の議論
	第3回	◦方向性案の議論 具体的見直し案の検討
令和9年度	第4回	◦方向性案の議論 具体的見直し案の検討
	第5回	◦答申案の議論
	第6回	◦答申のとりまとめ

※公立八鹿病院看護専門学校に係る会議は、第1回～3回会議の同日に開催する予定